

## 『コレカラ会議』は14時より開始いたします

### | 注意事項 |

- ▶ 皆様は閲覧のみ可能です。音声はご使用いただけません。
- ▶ 質疑応答はQ&A機能を使用いたします。  
画面下部のチャット画面を開いていただき、  
「媒体名、ご氏名」を添えて質問をご入力ください。
- ▶ 質疑応答以外の時間に投稿いただいても問題ございません。
- ▶ スタート後の接続トラブルはチャットよりご連絡ください。
- ▶ 登壇者のスクリーンショットはご自由に撮影ください。

# コレカラ 会議

第3回目

## ファシリテーター

岩下 直司

リクルート 経営コンピタンス研究所



# コレカラ会議

#より良い未来につなげる兆し #みんなで考える #日本の未来

「トレンド予測」は変わります。—『コレカラ会議』へ  
新しい目的、新しい情報発信、新しいカタチに。

リクルートグループで10年前に始めた「トレンド予測発表会」は、これまで企業・ユーザーの動向から見える社会変化をとらえ、流行や消費トレンドなど良い兆しを予測し発信してきました。業界の活性化や社会課題の解決に役立つ未来予測として、「ソー活」「寮内留学」「デュアラー」「ポータブルメ」など、すでに80件を超える“良い兆し”を毎年発信し続けています。リクルートグループが提供する様々な領域サービスを横断で俯瞰し、企業とユーザーの動向変化に加え、社会・経済、文化・価値観も含めた人のあらゆる営みの変化が織りなす“変化の兆し”を紐解きながら“近い未来”を読み解いてきました。

しかし今は、“世界中がコロナの真っ只中”にいます。人も企業も国も、すべての人々が起こる現実と変わる未来、どう変われば良いかを考え、全方位で、しかも猛スピードで変革しはじめています。

私たちのトレンド予測は、今までの「社会における良い兆し」の発信から、一段進化して「日本の未来を“良い未来につなげる兆し”」の発信へシフトします。大胆に変化する身近な今を「観る」「知る」「考える」「予測する」を積み重ねることはもちろんのこと、発信の仕方も、タイミングも、どんどん変えて行きます。流れに身を任せる未来を待つよりも、“変化の兆し”をつかみながら適応していく未来により貢献したい。より良い未来づくりにつなげる『コレカラ会議』にご期待ください。

2020年10月『コレカラ会議』運営事務局

「コレカラ会議」特設サイト: <https://www.recruit.co.jp/company/involvement/korekara/>

## コレカラ会議 前回までの振り返り

学校と職場が変わる、  
『オンライン行動学』のコレカラ



仕事

教育

### 教師・上司の役割は「共師・共司」へ

学校と職場では、オンライン化の進展によって変化が起きていましたが、コロナ禍でその動きが加速をしています。特に、教師や上司の方々に求められる役割は大きく変化をしており、生徒や同僚との関係性構築・マネジメントにあたっては、新...

人生の岐路の決め方が変わる、  
『〇活・〇活動』のコレカラ



婚活

仕事

進学

### フィットマッチング

リアルの場でお互いが構えて「一発勝負」だった重要意思決定。特に、これまでなかなかオンライン化が進みにくかった「婚活」「人材」「進学」領域ですが、このコロナ禍においてオンラインへのシフトが加速している事例があります。そこで...

## 本日のテーマ

**「働く」と「住む」の関係性のコレカラ**



## 話者

池本 洋一

リクルート住まいカンパニー  
『SUUMO』編集長  
SUUMOリサーチセンター長

## 話者

藤井 薫

リクルートキャリア  
HR統括編集長



テーマ

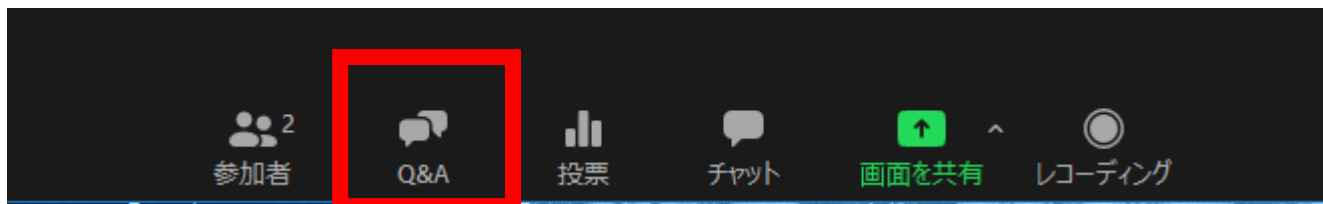
# 「働く」と「住む」の関係性のコレカラ

アジェンダ

1. 調査や事例を用いた「兆し」の説明
2. 「働く」と「住む」の関係性の整理
3. 質疑応答
4. 今後の「暮らし方」についてのヒント

質問などございましたら、  
画面下の「Q&A」より  
「媒体名、ご氏名」を添えてご入力ください。

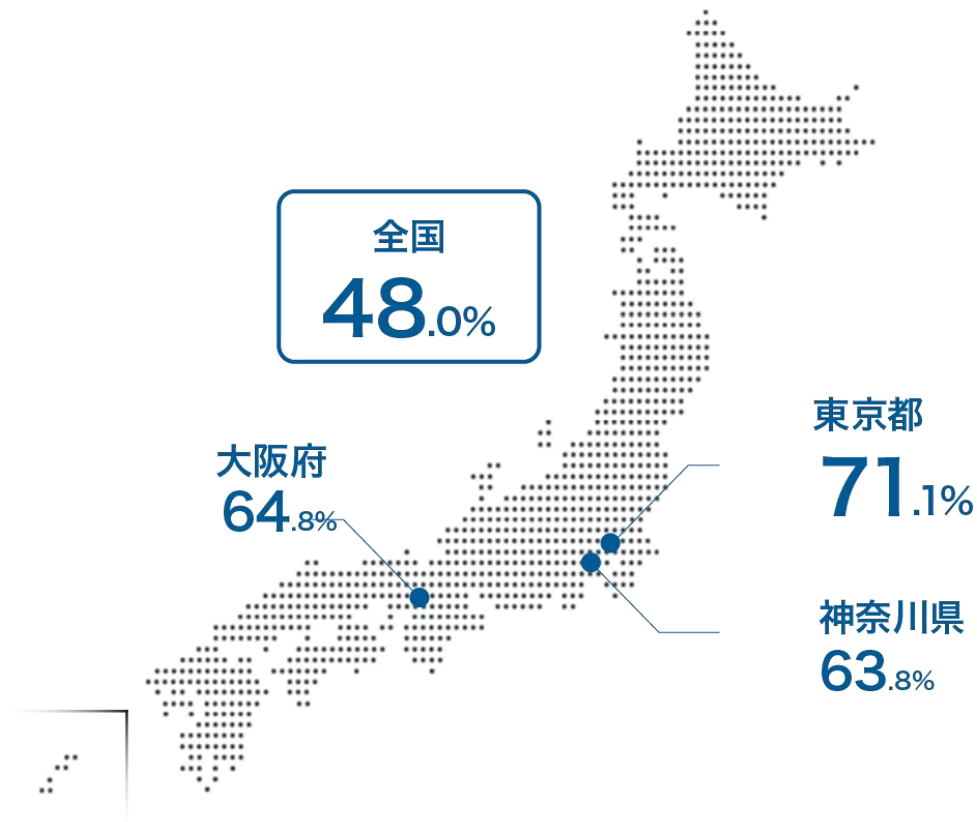
※ 「媒体名、ご氏名」は公開いたしません。



# 「働く」と「住む」の関係性のコレカラ

## コロナ禍で加速したこと

# 首都圏を中心にテレワークが急激に普及 緊急事態宣言下でのテレワーク経験は東京で約7割

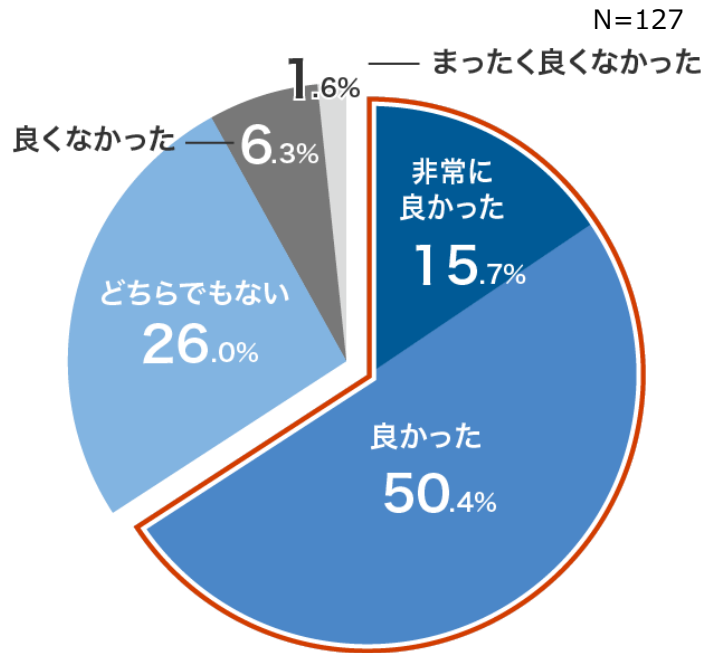


『新型コロナウイルス禍での仕事に関するアンケート』2020年  
リクルートキャリア調べ

## コロナ禍で加速したこと

# 自由にテレワークできるようになった人の66%は良かった 今後の継続意向も8割超え

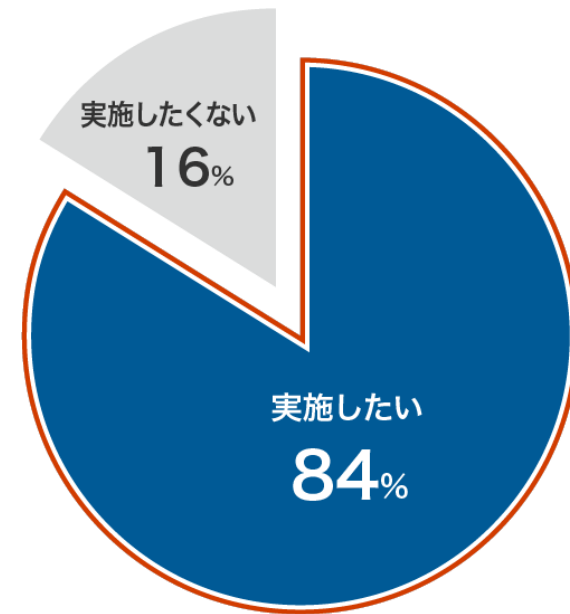
### 自己の判断で自由にテレワークできるようになって良かったですか



良かった | 計 **66.1%**

### 今後のテレワーク継続意向は？

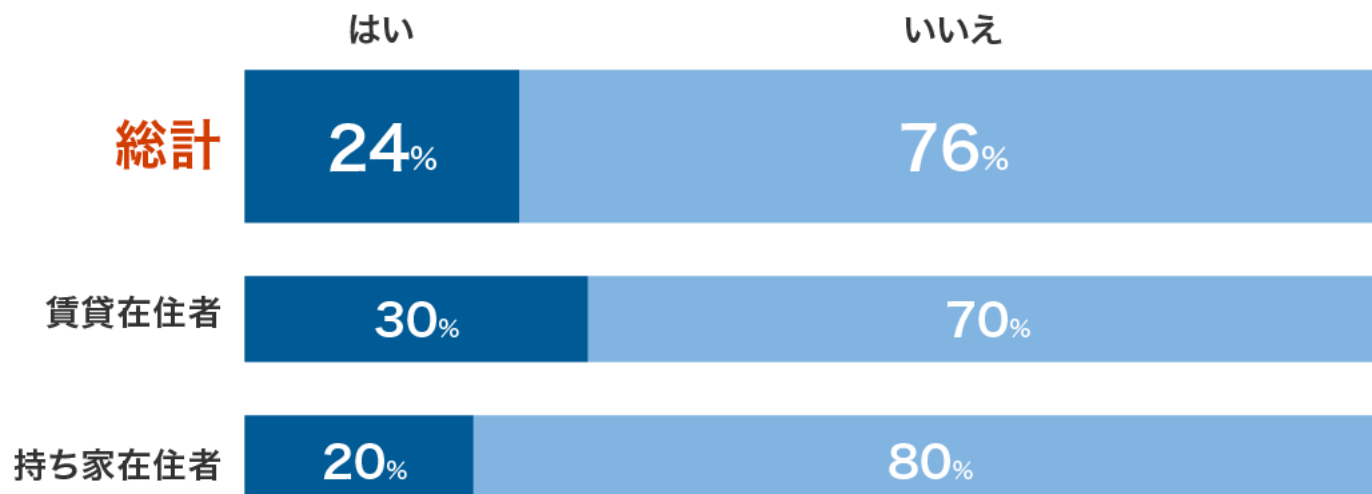
N = 1,390



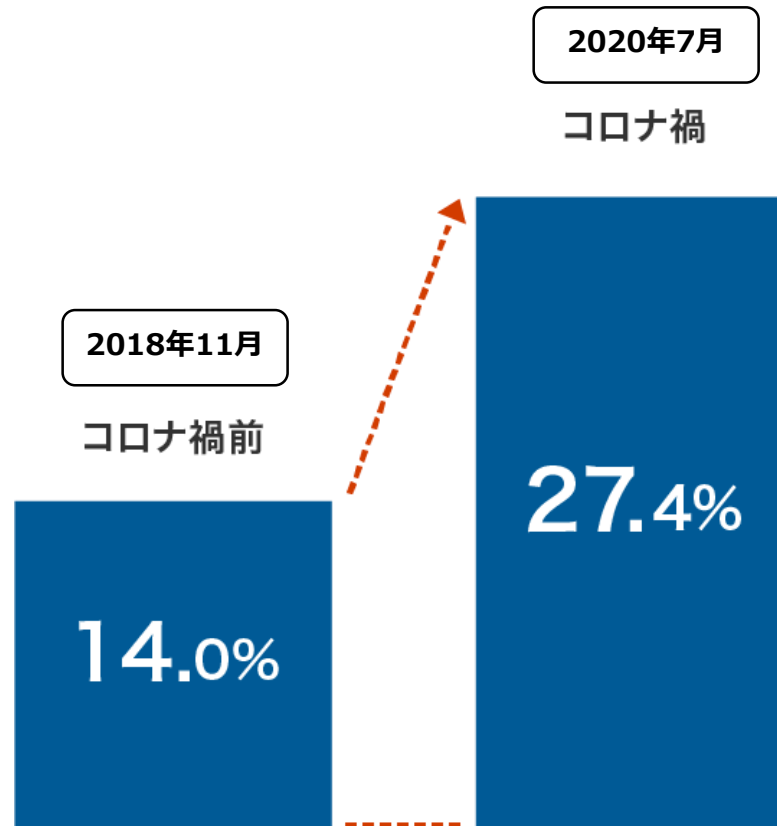
実施したい | 計 **84%**

## 今後もテレワークが続く場合、 今の家からの住み替えを検討したい人は4人に1人

今後も（コロナ禍が終息した後も）引き続きテレワークを行う場合、  
今の家から住み替えを検討したいですか N=1,390



## 二拠点や都会以外での生活への関心も高まってきた



### デュアルライフ意向者

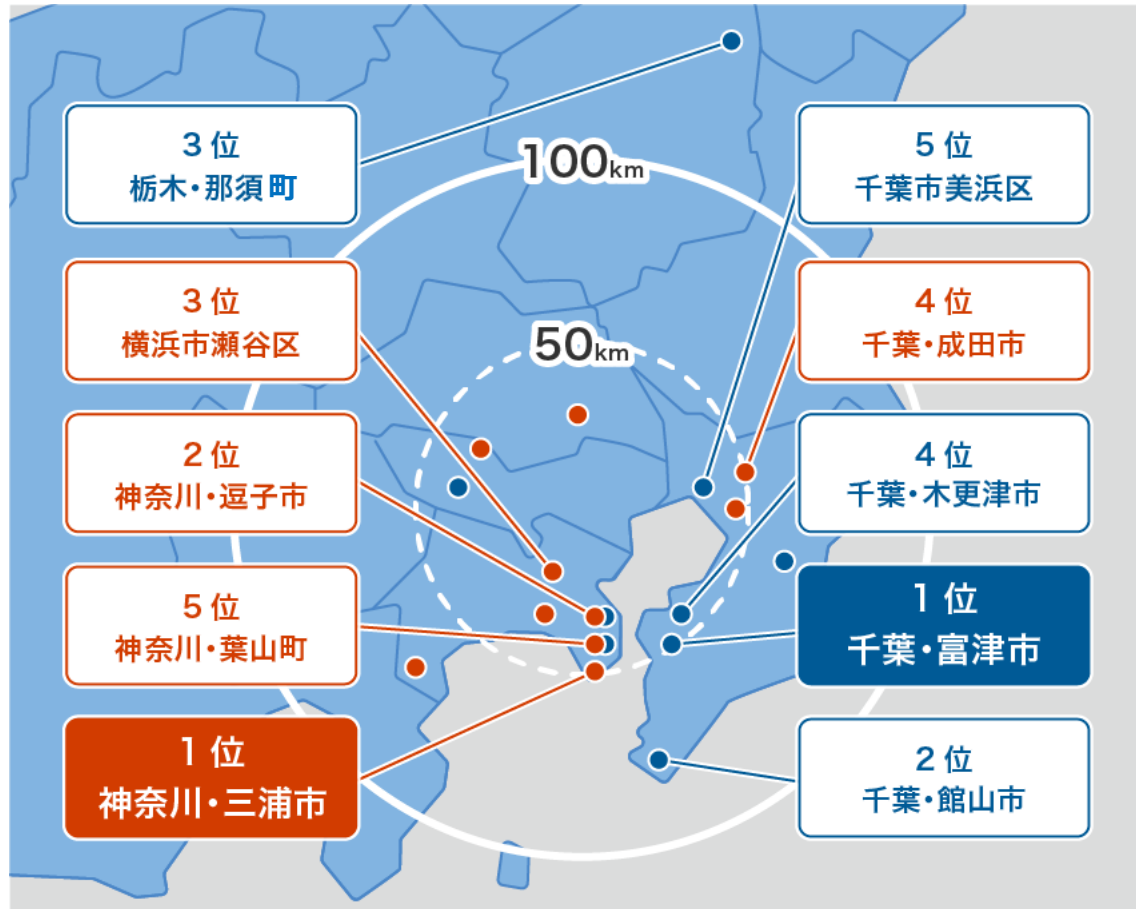
※デュアルライフ意向者：  
デュアルライフについて、下記いずれかの回答者  
「今後したいと考えて、具体的に拠点探しなどの行動をしている」  
「具体的な行動には至っていないが、今度したいと考えている」  
「なんとなく興味がある/上記説明を見て興味を持った」

『デュアルライフ（2拠点生活）に関する意識・実態調査』  
（N=50,000）と2020年7月実施調査（N=1,723）の比較  
リクルート住まいカンパニー調べ



## 都心100キロ圏内の郊外への関心が高まっている

『SUUMO』 物件ページの閲覧数がコロナ禍を受けて伸びたエリア



『SUUMO』 物件詳細閲覧数を2020年1月と8月で比較し  
伸び率が高かった市区町村をマッピング

## テレワークの加速が起点となり

### 住む場所・働く場所の 選択肢の広がり

- 都心近郊外・田舎移住
- ワークेशन
- 二拠点/多拠点居住
- サテライトオフィス  
(コワーキングスペース)

### 時間の使い方の 自由度が増した

- 仕事の前に趣味（サーフィン、ワークアウト、語学勉強etc）
- 副業にトライ
- ボランティア、地域活動への参加
- 子どもと過ごす時間

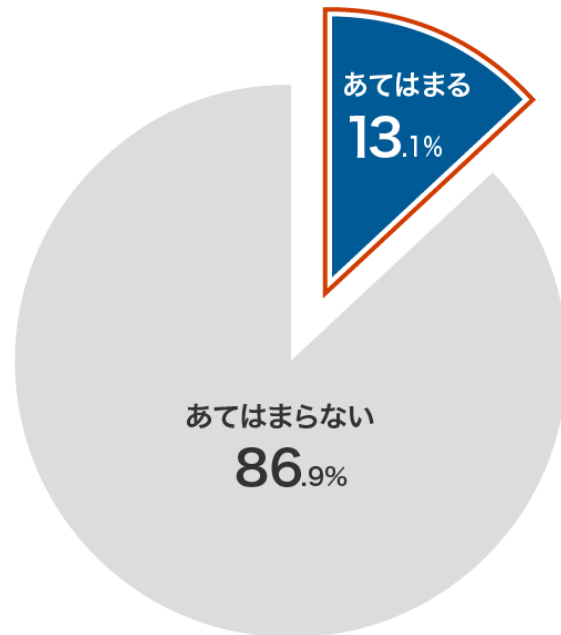


**仕事・暮らしの自由度・裁量度が増した**

## 人生を見つめ直し、自分の幸せとは何か改めて考えはじめた

### 人生を見つめ直した

N=4,000

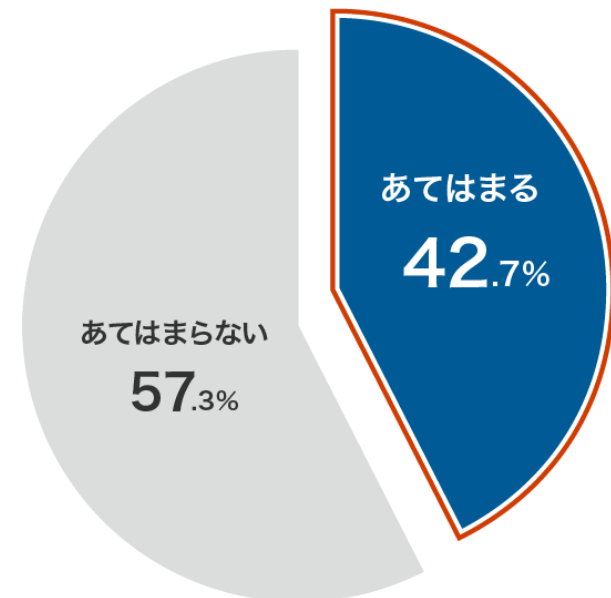


<参考>

首都圏 13.7%  
20~30代男性 15.3%  
20~30代女性 16.1%

### 他人の目は気にせず、 自分の幸せを追求する生き方がよい

N=4,000



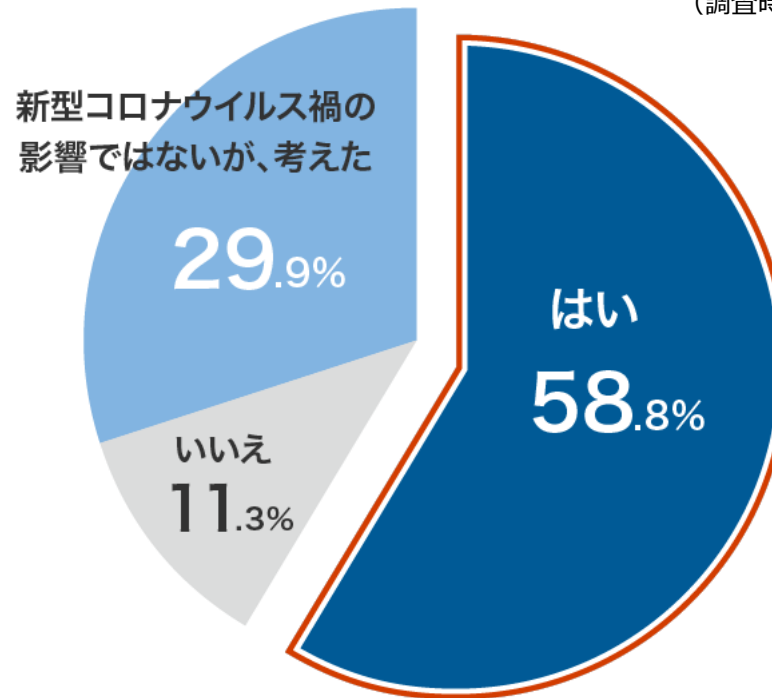
<参考>

首都圏 45.0%  
20~30代男性 41.8%  
20~30代女性 47.5%

## 転職検討中の人においては 自分の将来のキャリアを見つめ直した人は約6割

新型コロナウイルス禍を受けて、  
自分の将来のキャリアを見つめ直したり考えたりしましたか？

単一回答 N=636  
(調査時点で「転職検討中／活動中」の人)

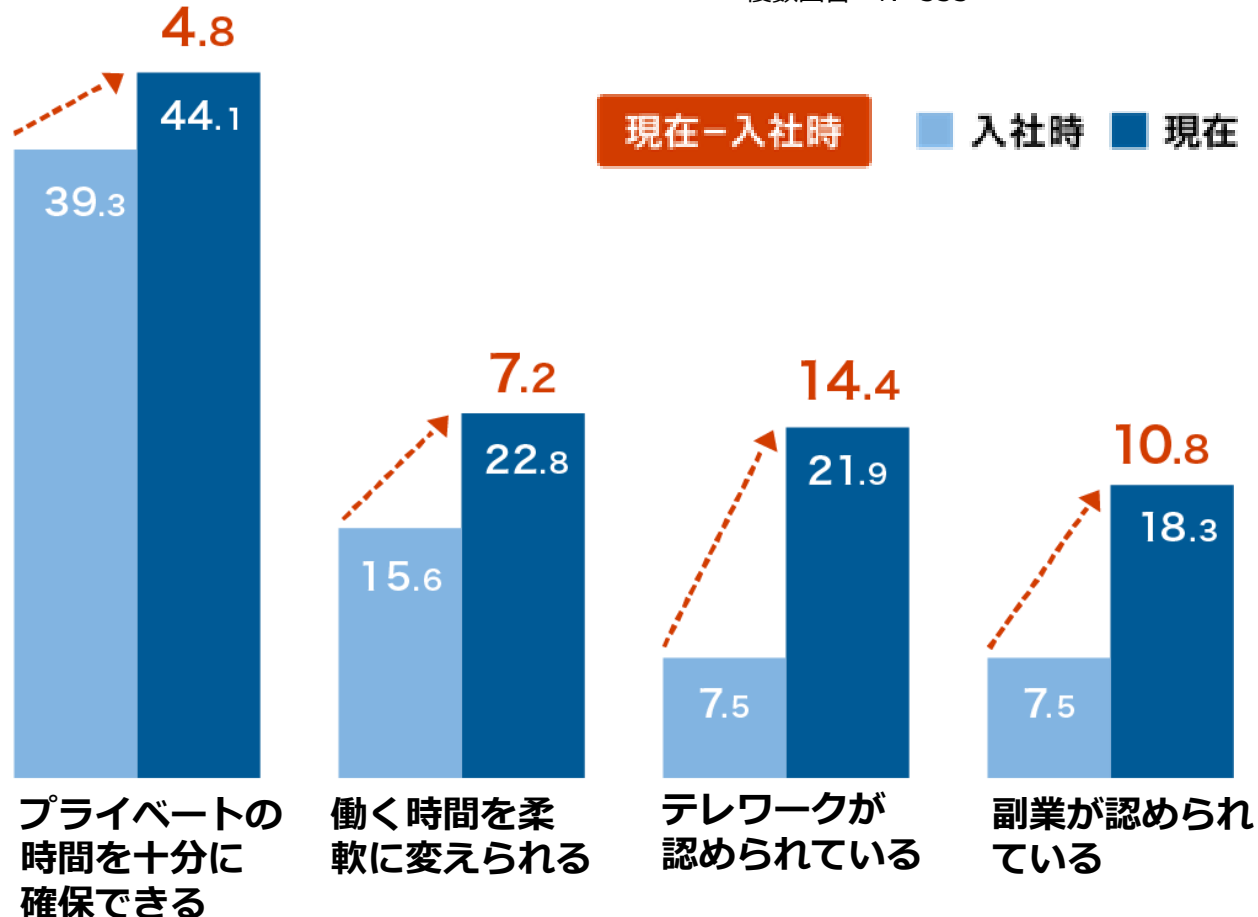


『新型コロナウイルス禍での仕事に関するアンケート』  
2020年 リクルートキャリア調べ

## 仕事選びでも働く場所や時間の自由度を重視する人が増えた

### 転職検討者の仕事選びの重視項目

複数回答 N=333



「時間」も「場所」も自由裁量が広がり、暮らしも仕事も見直す人が増える。

「幸せ」を求め、やりたいこと、大切にしたいことへ、生き方がシフトする。

コロナ禍で、生き方そのものを丸ごとデザインし直す人が増えはじめている。

## クラシゴト改革

「働き方改革」 → 「クラシゴト改革」  
(暮らし×仕事=生き方)

## 趣味を充実、ワーケーションで、暮らしと仕事を整える

<働き方>  
テレワーク・フレックス制

×

<住まい方>  
都内の自宅⇔ワーケーション



**Eさん** 20代後半男性／独身／IT関連会社勤務／東京

コロナ前

- ・都内で一人暮らし
- ・会社へは基本的に毎日出勤

きっかけ

- ・コロナ禍でのフルテレワークに。一人暮らしでプチ鬱状態
- ・出勤する必要はないなら、趣味のサーフィンを楽しみたい

<ステップ①>

鎌倉の実家にて、

朝や夕方など仕事の合間にサーフィンをする生活

<ステップ②>

都内の自宅に戻った後も、友人と小田原・五島列島などで

ワーケーションし、サーフィンがある暮らしを継続

現在

障壁

自宅以外の勤務に関して会社で明確な規定がなかったが、会社の制度で試験的に認めてもらう

サーフィンを楽しむだけでなく、ワーケーション先などでの会社以外の居場所ができたことで、心身ともに整った

コレカラ

- ・賃貸の自宅をどうするか（ワーケーション中の家賃やりくり）
- ・会社の制度が定まらない中、中長期的なプランをどう立てるか



## 会社に副業交渉をし、夢のフォトグラファーの仕事×多拠点を実現

<働き方>  
副業／テレワーク

×

<住まい方>  
多拠点生活



**Sさん** 20代後半男性／ご夫婦／民間気象会社勤務／大阪

コロナ前

・一度はあきらめたフォトグラファーの夢を、**副業という形で実現**

**障壁**

副業制度がない会社だった。  
あきらめずに交渉を続け、副業認定第一号に

・出社が前提の職場で週5勤務だったため、副業は週末のみ対応  
(週末撮影のための移動で体力的にもきつい生活)

きっかけ

・コロナ禍で**テレワーク可能に**

現在

・本格的な多拠点生活を開始。平日日中はテレワークで本業の仕事をし、**朝夕にフォトグラファーの仕事**。土日は撮影の合間に、アート展など感性が磨かれそうな場所を訪問

**障壁**

資金面の不安。正社員としての安定収入をベースに、住まいの定額制サービス「HafH」の活用で費用抑制する。拠点の1つである古民家をシェア・ゲストハウス化して収益化予定

**葛藤**

会社関連の人からの信頼を得られるか？ 体調管理の徹底やコミュニケーション、副業が本業につながっていることのアピールで地道に信頼をつむぐ

**夢のフォトグラファーの副業に時間がさけることはもちろん、インプット量が増えたことで、本業にもいい影響が**

コレカラ

・副業／多拠点／田舎移住など、新しい暮らしや働き方を発信

## コロナ禍で生まれた時間を、街の飲食店支援・コミュニティ活動に

<働き方>  
テレワーク

×

<住まい方>  
もともと住んでいた地域



**Nさん** 30代後半男性／ファミリー／通信関連会社勤務／埼玉

コロナ前

- ・基本的には毎日出社
- ・「うらわLOOP」や「うらわClip」などのパパコミュニティでの地域貢献活動を実施

きっかけ

- ・コロナ禍でフルテレワークに。通勤時間が減り、時間的にも余裕が
- ・地元に過ごす時間も増える中、コロナ禍で苦しむ地元商店の声を聴き、何かできないかと考えるように

現在

- ・「うらわパーティ」という新たなプロジェクトを自らの手で発足。浦和の地元商店の支援につながるオンラインイベントを企画し、浦和の輪を広げられる場づくりに貢献

+効果

仕事で培ったスキルが地域の街づくりにも役立つ実感。自身の仕事でもある、通信を活用したイベントを自ら企画、実行したことでその魅力と課題を発見し仕事に生きた

テレワークで生まれた時間、持っているスキルを活用すれば  
働くパパが、地域の居場所づくりの中心になれる

コレカラ

- ・これからも浦和をつなぐ「場づくり」をしていきたい。今はイベントが中心だが、一過性ではなく、「日常的に続く場」としてどう継続させていけるかを模索



## クラシゴト改革 その他 実践者例

東京の自宅を引き払い、  
念願の**多拠点生活**を実現！

Jさん 20代後半男性／ご夫婦／広告会社勤務



コロナ禍でのテレワークきっかけで、住まいの**定額サービス「Address」**の利用を開始。会社のルールの中で多拠点生活ができる交渉を行い実現させた。

**高尾に移住し、趣味のトレランを満喫**  
**海外ワーケーションも**

Mさん 20代後半男性／ご夫婦／ITベンチャー勤務



テレワークを前提に、都内から**趣味のトレランを満喫できる「高尾」への移住**を決意。平日は早朝に山で走ってから仕事に。海外ワーケーションも定期的を実施。

テレワーク可能な会社に転職  
東京で子育て+長野で「ふるさと副業」

Cさん 30代女性／夫・子2人／IT関連会社勤務



働いた時間＝会社貢献という暗黙知に違和感をもち、テレワーク可能な会社に転職。塩尻市の地域おこしにふるさと副業として参画。子どもの夏休みなどは長野県の実家に子連れで里帰りし、**1カ月テレワーク**することも。

鎌倉移住が人生見つめ直し起点  
今は**神戸の実家にUターン**

Kさん 20代後半／独身／IT関連会社勤務



コロナ禍で念願の鎌倉移住。コミュニティが充実した街で体感し芽生えた「ふるさとへ貢献したい」という思い。Uターンを決意し、副業という形で地元へ貢献。





### JTBが目指すもの

ライフステージや志向、意思に基づいて、一人一人の生き方や働き方を個人が自律的に選べるように支援することによって、顧客サービスや生産性の向上、働きやすさの追求による社員のエンゲージメント向上につなげる。

### 新たに導入された制度

1. **「ふるさとワーク制度」の導入**（2020年10月施行）  
居住登録地でテレワークをベースに業務に従事できるようにし、単身赴任を回避し家族と過ごせるようにする
2. **「勤務日数短縮制度」の導入**（2021年4月施行）  
一律週5日勤務という働き方でなく、社員の希望に応じて5つのパターンから年間の勤務日数を選択できる制度を導入。
3. **「副業ガイドライン」の制定**（2020年10月施行）
4. **「テレワーク勤務制度」の運用拡大**



### ヤフーが目指すこと

ワークとライフのバランスにより、社員の働きがいや働きやすさの向上を目指すことと合わせ、副業人材の活用により、さらなるサービスの進化・向上を目指す。

### 新たに導入された制度（2020年10月施行）

1. リモートワークの回数制限を解除
2. フレックスタイム勤務のコアタイムを廃止
3. **最大月7,000円の補助**（どこでもオフィス手当4,000円＋通信費補助3,000円）
4. **通勤定期券代の支給停止**（通勤交通費は実費支給）
5. **100名を超える副業人材の募集**

ニューノーマルを見据えた「オープンイノベーションの創出」を目的に、ヤフー以外で本業に従事する方の副業先としての受け入れを開始。ギグパートナーとして100名以上受け入れ。

# 人生を豊かにする暮らし方と働き方の変化の兆し

	イママデ		コレカラ
「仕事」と「生活」 の 環境・制約条件	出勤が当たり前 時間と場所の制約	中長期的な変化 コロナ禍による加速	テレワーク当たり前 時間・場所の 自由度が向上
仕事・キャリア	会社中心 昇進・昇給 単線的キャリア	価値観の変化	社会全体 社会人としての充実 複線的キャリア
ワーク ライフバランス	Trade-off 仕事か？生活か？	バランスの変化	Both 生活と仕事 どちらも大切に
生活・人生	経済的豊かさ	価値観の変化	心理的豊かさ

「時間」も「場所」も自由裁量が広がり、暮らしや仕事を見直す人が増える。

「幸せ」を求め、やりたいこと、大切にしたいことへ、生き方がシフトする。

コロナ禍で、生き方そのものを丸ごとデザインし直す人が増えはじめている。

## クラシゴト改革

「働き方改革」 → 「クラシゴト改革」  
(暮らし×仕事=生き方)



## 質疑応答

# 「クラシゴト改革」のためのヒント

## 暮らす方・働く方へのヒント

### ① 見つめ直し

自分や家族が本当に実現したい暮らし方・生き方を考え直してみる

### ② お試し

新たな暮らし方を体験してみて実際に確かめて不安を解消

### ③ 環境づくり

意思を口に出す・周囲や会社に相談してみる・仲間をつくる

### ④ 計画・実行

実現のための準備・移行を計画的に行う

## 企業へのヒント

### ① 制度・ルールの見直し

働き方・暮らし方の裁量度拡大を支援するための見直し

### ② フィジビリティ・スタディ

希望者を募って実証を行い、課題を把握した上で制度化を行う

### ③ 環境の整備

IT環境・テレワーク環境の整備

### ④ 現場での工夫と実践

個人の働き方・暮らし方の違いを認めたマネジメントとチームワーク

# クラシゴト改革

「働き方改革」 → 「クラシゴト改革」  
(暮らし×仕事=生き方)

# 「コレカラ会議」 今後の開催予定

## 第4回目

余暇の“過ごし方”が変わる。  
非日常“消費”のコレカラ（仮）  
1月下旬 開催予定



じゃらん  
リサーチセンター長  
沢登 次彦



リクルート自動車総研所長  
カーセンサー編集長  
西村 泰宏



じゃらん  
Mookシリーズ編集長  
今西 裕子



ホットペッパービューティー  
アカデミー長  
千葉 智之



ホットペッパーグルメ  
外食総研 上席研究員  
稲垣 昌宏

## 第5回目

余暇の“楽しみ方”が変わる。  
非日常“体験”のコレカラ（仮）  
1月下旬 開催予定

6回目のテーマや時期は順次ご案内させていただきます。

# コレカラ 会議

本日はありがとうございました  
アンケートにご協力ください